

## 自治会まちづくりミーティング（要旨）

- 1 自治会等の名称 鶴沼第2自治会連合会・陵南自治会連合会
- 2 日 時 令和6年7月11日（木）19時00分～20時30分
- 3 場 所 陵南福祉センター 集会室
- 4 出席者 自治会長等 26名  
市長・防災対策課長ほか
- 5 内容 ① 連合会長あいさつ  
② 市長あいさつ  
③ 提言による懇談  
④ 市政の説明（市長）  
⑤ 連合会長まとめのことば  
⑥ 市長まとめのことば
- 6 提 言 (1) 環境にも家計にも優しい今すぐできること  
(市指定のゴミ袋を有料レジ袋として販売して欲しい)  
(2) 防災行政無線屋外拡声支局災害情報スピーカーの音が反響し  
聞きづらい  
(3) 自治会負担の軽減・効率化、広報紙や市への提出資料の電子化

**提言（1） 環境にも家計にも優しい今すぐできること  
（市指定のゴミ袋を有料レジ袋として販売して欲しい）**

**<鶴沼第2自治会連合会長>**

環境問題が叫ばれレジ袋の有料化が実施されて久しいですが、買い物の際にレジで有料のレジ袋を求める人も未だに多く見受けられます。

私も普段「エコバッグ」を持つのを忘れるので、そのうちの一人ですが。

私の家庭だけかもしれませんが「エコバッグ」と称するバッグがいくつも溜まり何がエコなのかわからない状態です。

環境意識が高い人は廃棄物を少なくするよう努力し実践しているかと思いますが、そうでない人はこれからもレジで有料のレジ袋を購入するでしょう。

市指定のゴミ袋は生活していく上で必ず購入するものなので、これをレジ袋として市内の小売店舗で活用してもらえれば環境にも家計のお財布にも優しいと思います。

現在、ゴミ袋は20枚を1袋として販売されております。これをバラしていただいてレジの横に並べていただき、「私はこれがいい。」といった選択肢を作っていただけるといいのではないかと思います。提言させていただきます。

#### <市長>

レジ袋の有料化につきましては、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題に対応するため、令和2年7月1日から全国で開始されました。

本市では、国に先駆け、平成20年4月から事業者のご協力をいただき、レジ袋の有料化を導入するとともに、買物袋持参の協力の呼びかけを行っていただくなど、レジ袋削減に関する取組を進めているところです。

しかしながら、市内におけるレジ袋の購入率の推移をみますと、令和2年度は9.6%であったのに対し、令和3年度は10.7%、令和4年度は11.5%、令和5年度は12.1%となるなど、最近はやや増加傾向にあります。

レジ袋を購入する理由としては、

- ・マイバッグを持っていない（持ち歩いていない）
- ・買ったものがマイバッグに入りきらない
- ・徐々に有料であることに慣れてしまってきている などが考えられます。

従いまして、今後、レジ袋削減を一層推進するため、更なる啓発を行っていくとともに、ご提案いただきました「市指定ごみ袋をレジ袋として販売する取組」についても、有効な手段として進めてまいりたいと考えております。

本市においては、ちょうど今月（7月）1日より、ザ・ビッグエクストラ各務原鶴沼店（イオンビッグ鶴沼店）において、市指定ごみ袋の小サイズ（15L）を有料レジごみ袋として販売を開始されております。

今後、ご協力いただける事業者を増やしていけるよう努めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

#### <鶴沼第2自治会連合会長>

ありがとうございます。

すでに1店舗こういった趣旨に賛同いただける事業者が出てきたということはとてもありがたいと思います。

ぜひ全市の事業所に呼び掛けていただいて、こういった運動が広がればいいかなと期待しております。

#### 提言（2） 防災行政無線屋外拡声支局災害情報スピーカーの音が反響し聞きづらい

##### <大伊木東自治会長>

防災行政無線屋外拡声支局災害情報スピーカーから流される各務原市・各務原警察署等の情報（各務原市からの各種案内、各務原警察署からの犯罪情報（詐欺）や所在不明者手配等）は、大変貴重で、ありがたい情報がありますが、スピーカーから流れる音声が山もありますので、反響して聞きづらい、または大事な部分が聞き取れない状況にあります。

今後、大きな地震や災害等の発生が予想され、その対応について各務原市から指示が出されても、内容を聞き取ることが難しく、防災行政無線としての効用が発揮されないのではないかと思われます。

## <市長>

防災行政無線は、市民の皆様の生命と財産を守るために必要な緊急情報を迅速かつ正確にお伝えするための重要な情報伝達手段の一つになります。

本市では、平成20年度に、この防災行政無線を整備し、現在、市内220か所に屋外用のスピーカーを設置し、市民の皆様に様々な防災情報などをお知らせしています。

具体的には、非常時における「地震や風水害に関する気象情報」、「Jアラートと連動した弾道ミサイルなどの国民保護に関する情報」、「高齢者等避難や避難指示に関する情報」などの防災情報のほか、平常時における「警察からの依頼による行方不明者の捜索情報」、「詐欺に関する注意喚起情報」などがあります。

防災行政無線により、このような情報を発信する際、非常時には市内全てのスピーカーから一斉に放送し、平常時には全スピーカーを3つのグループに分けて順番に放送することで、音声の反響を少しでも抑え、市民の皆様が聞き取りやすい方法に努めています。

※（パワーポイント画面にて説明）

大伊木地区には3つのスピーカーを設置しており、①→②→③の順に放送しています。お隣の朝日町も同様に①→②→③の順に放送しています。

今回ご指摘いただいた場所については、原因究明のため、先ず、周辺環境の状況やスピーカーの向き、機器の状態などを専門業者と現地調査を行い、改善に向けた対応を検討してまいります。

また、スピーカーから流れる音声は、市職員が録音したものを使用していますが、話し方や話す速度などについて更なる工夫をし、より聞き取りやすい放送になるよう努めてまいります。

しかしながら、防災行政無線の聞き取りやすさについては、その時どきの風向きや天候などの気象条件に加え、高い建物や地形などの周辺環境に影響されやすいものであるため、どうしても放送が聞こえにくい、あるいは、ほとんど内容が聞き取れないような場合も想定されるところです。

このような場合におきましても、特に災害発生時などの緊急事態においては、市民の皆様に放送内容を正確にお伝えすることが必要であると考えております。このため、放送内容が聞こえにくかった場合の補完手段として、24時間電話サービスや市公式ライン、市情報メールによる発信などの対応を併せて行っておりますので、是非ともご活用いただきたいと思います。

※（パワーポイント画面にて表示）

災害情報スピーカーテレホンサービス：058-380-5055

災害情報スピーカーの情報を聞き流したときに、放送内容を確認できます。

本日、市公式ラインやX（旧ツイッター）等にて、市からの情報をスマホや携帯へお届けすることを掲載した案内チラシを皆様のお手元にお配りしておりますので、まだご登録いただいていない方は、この機会にぜひご登録ください。

今後も、市民の皆様に迅速かつ確実に情報伝達が行えるよう、無線放送環境の向上やその補完手段の整備に取り組んでまいりますので、よろしく申し上げます。

なお、既存の防災行政無線は、導入から15年超が経過し、機器の老朽化による不具合の発生や、保守機材の生産終了など、正常かつ適正な稼働に支障を来していることから、機器の更新を検討しています。

### 提言(3) 自治会負担の軽減・効率化、広報紙や市への提出資料の電子化

#### <陵南自治会連合会長・朝日4丁目東自治会長・朝日2丁目北自治会長>

##### <陵南自治会連合会長> (朝日町連合自治会長)

朝日町でまちづくりミーティングの提言の募集をしたところ、2人の自治会長から関連する提言がありましたので提案させていただきます。

また、自治会に入る、入らないという中で、前年度に市の方でアンケート調査が行われ、前年度の自治会長にはその結果が届いております。

その中で、自治会に入りたくない理由の1番は「役員になりたくないから」これが51%、その次に多いのが「入っても入らなくても困らないから」(興味の無い方)で37%、この2つがアンケートの中で出ておりました。アンケート結果を持って見える人は見ていただけたらと思います。

提言の2件については、自治会の負担軽減、効率化に関するものです。自治会長の負担軽減と言い換えてもいいかもしれません。それを具体的にどうしたらいいかということで、広報紙や市提出資料の電子化ということ、この2つの観点から提案をさせていただきます。

##### <朝日4丁目東自治会長：代理発言 朝日町連合自治会長>

###### 1. 自治会負担の軽減・効率化

- ① 広報紙の発行日数と配布を減らしてほしい。
- ② ふれあいセンターなど公民館等の管理は市役所でやってほしい。
- ③ 自治会員や自治会長等になったらどんな負担があるのかを徹底的に周知してほしい。(特にデメリットを)

この方は、引っ越してきてすぐに自治会長になられたそうです。朝日町ではそれぞれ自治会長に朝日町連合会としての役割がありまして、この方は「ふれあいセンターの管理」「稲荷神社」の2つの担当が当たっております。それを踏まえてお話しします。

提言を出された理由としては、「自治会に初めて加入して自治会長になりましたが、あまりにやる事が多くて戸惑っています。最初から知っていれば加入しませんでした。たまに町や公園の掃除をするぐらいならいいですが、訳の分からない団体や役員を押し付けられるのはおかしいです。今後も市として自治会加入を勧めるなら、負担が大きいこともしっかり周知してほしい。特に役員の負担の軽減化や効率化をしていかないと加入者は一層減っていきます。」と、先ほどのアンケートそのもののお話をされています。

以上よろしくお願ひします。

続いて次の提言について朝日2丁目北自治会長よろしくお願ひします。

##### <朝日2丁目北自治会長>

###### 2. 広報紙や市への提出資料の電子化

- ① 広報紙はLINEにて内容を確認することが出来るので、真に必要な世帯を除いて配付をやめ、広報紙の仕分け、配布による負担を減らす。

自治会長や班長による広報紙の仕分け、配布、回覧の負担が月2回減る事で家族の時間が作れます。また、紙の印刷及び輸送に掛かる費用を減らす事が可能。

ただし、スマホやタブレット等のツールを使えない高齢者等の真に紙ベースの広報紙が必要な世帯に限り従来通りの配布とします。

② 市から送られてくる各種書類は、市のHPにて入力できるWebページを用意することで効率化を図る。

市から送られてくる各種書類に必要事項を記入して郵送若しくはHPからフォームをダウンロードして、指定されたアドレスへの送信となっています。我々としては、引継ぎ時の混乱を避ける意味で手順の一本化を希望します。その為には、市のHP上で必要なURLを自治会長へ公開して、当該ページで入力（スマホ／タブレット／PC）する事で完結する仕組みを作ってもらおう事で、効率化、各個人の時間を確保（家族時間）する事ができます。

広報紙はラインでも配信されていますし、今日いただいた資料の中にもそういったことが書いてあります。ラインがいいのは後から見返すことが出来ますし、自分のタイミングで見ることが出来るということです。

広報紙を配るのは良いですが、さっさと見て処分される方も見えます。ただ本当に必要な所には紙で、ということもあります。ラインを使わない方、あるいはスマホやパソコンを持っていない方の所には紙で配布する必要があるが、それ以外のところには電子化したもので配布していくのが良いと思われれます。

また、市から送られてくる文書や書類がいっぱいあって、広報紙と同じタイミングで送られてくるのですが、書類が多すぎてなかなか手が付けられない、もしくは紙で提出というのもありますし、中には市のホームページから資料をダウンロードして提出もできますよと、2重3重の提案がされています。そうすると「じゃあどちらに出せばいいのか？」となり、日頃働いていると帰ってきて時間を取りづらいこともあるので、そうすると簡単な方、WEBでやったりすることになるのですが、そうしたときに紙で来た書類の中身を見ると、同じものではない。紙の方だと字の大きさ等自由なのでたくさん書けるのに、電子フォームの方だと文字数が限られていて書ききれないということもあります。また、ワードやエクセルのフォームをダウンロードして提出というのがありますが、今はパソコンを持っている家庭よりもスマホを持っている家庭の方がはるかに多く、スマホはほぼ1人1人持っているので、メールのフォームで登録できる、送信できる、そういう仕組みを作っていた方が、パソコンを持っていない家庭にしてみるとすごくありがたいと思います。

広報紙については、仕分けをしないといけない。それぞれの班に仕分け、またアパートがあれば、そこに必要な部数を仕分ける必要があります。また、班長さん宅にそれぞれ持って行く分には構わないのですが、アパートは1戸1戸入れないとはいけません。アパートによっては、集配が1個所にまとまっているところもあれば、個別に分かれている所もある、そうすると自治会長はその紙をもってアパートを個別に回らないといけないわけです。いろんな場所に散らばっていますから、各階回ったりしないといけないというので結構大変です。自分が自治会長なって初めて分かったのですが、回るのに結構時間がかかります。

これが月に2回。まずは自宅での仕分け、それから集配に係る時間、これらに結構時間を取られることになります。

また、町内を回るといっても、歩いて回るわけにもいかないので車になります。そうすると今ならまだ明るいから良いですが、夜になってくると危険が増してきます。タスキをして歩いて回

るということになります。重量もあるのでそうもいかず、車を各班長さん宅やアパートの前等に止めて配ることになります。道路状況によっては交通の妨げになることもあります。紙というのは結構重いですし、今カーボンニュートラルが叫ばれていますが、結局は燃やされます。ゴミの処分ということ考えた時には、電子化で紙は出さない。今はペーパーレス制度が謳われていますから、そういうことを市から進めていただければ助かると思います。

自治会長の負担を軽減させるにはどうするのか、自治会のサイドとして出来ることはやりますが、減らせるどころ、DXという観点から、今、自治会長がやらなければいけない作業をデジタル化することで、どれだけ空き時間を作って他の作業に回せるのか、そういうことをしっかりと考えていく必要が有るということで、今回の提案をさせていただきました。

## <市長>

自治会長の皆様におかれましては、日頃より、自治会活動の中心となって、環境美化や防災、福祉の向上などにご尽力いただいております。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

この度、3名の会長より

1. 自治会の負担軽減・効率化として、広報紙の発行回数と配付の削減、市による公民館の管理、自治会員や自治会長の負担の周知
2. 広報紙や市への資料提出の電子化

についてご提言いただきましたので、順に回答させていただきます。

初めに、「広報紙の発行回数と配付の削減について」ですが、現在、広報紙の発行回数につきましては「市民の皆様にお知らせしなければならない重要な情報や、市民の皆様が必要とする情報を、適切なタイミングでお知らせする」という観点から、月2回とさせていただいております。

発行回数を減らすことは、適切なタイミングでのきめ細かい情報提供が難しくなることや、広報紙と同時に配付している折込みチラシの取扱いなど、課題もいくつかございます。

また、広報紙の発行回数について、市が実施しております市民アンケートでは、半数を超える方から、「現在の発行回数（2回）が適当である」との回答をいただいております。

一方で、令和5年度に実施した自治会長アンケートでは、配付方法について、「今のまま自治会で配付した方が良い」とお答えいただいた方は、約4割（37%）に留まり、「今のまま自治会で配付してよいが、回数を減らしてほしい（配付手数料減額）」は、約3割（29.5%）、市が配付した方が良い（配付手数料なし）」も、約3割（27.9%）となるなど、様々なご意見がある状況となっております。

従いまして、引き続き、発行回数の削減や、配付方法について、どのようにすべきか、自治会の皆様や市民の皆様から幅広くご意見をお伺いしながら、議論を深めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、現在、広報紙はデジタル版を市ウェブサイトや公式LINEで配信しており、パソコンやスマートフォンでいつでもどこでも読んでいただける環境が整っております。デジタル版広報紙をご活用いただき、紙の広報紙の配付は希望されない世帯がございましたら、広報紙の配付部数を調整させていただきますので、その旨まちづくり推進課までお申し出ください。

参考までに、2月15日に発行した広報紙に、デジタル版についてご紹介させていただいておりますので、ご確認いただければと思います。

次に、「市による公民館の管理について」です。

陵南自治会連合会で管理していただいている「朝日ふれあいセンター」は、平成11年に鶴沼朝日町連合自治会から「住民が共に活動し、共に語り合える場所が不足しているため、集会施設を建設してほしい」という強い要望があったことから、平成14年3月に総事業費約1億円で建設いたしました。

「朝日ふれあいセンター」を含め、市で建設したふれあいセンターなどで、自治会に管理をお願いしている集会場は市内に36施設あり、どの施設も地元自治会からの強い要望を受け、施設の維持管理などを自治会で行っていただくことを条件に建設したものととなります。

従いまして管理につきましては、引き続き自治会にお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

次に、「自治会長や自治会員の負担について」です。

自治会は、同じ地域に住む方々が、生活の向上、地域住民の助け合い、防災・防犯活動などを通じて、自分たちの地域を住み良いまちにしていくことを目的に自主的に結成された任意の団体となります。

自治会員同士が、お互いに尊重し、理解しながら地域を良くしていこうとする努力に支えられているものと考えます。

自治会の主な活動には、盆踊りや夏祭り、運動会などのイベントを通じた住民同士の親睦交流、地域の清掃活動、ごみステーションの維持管理、防犯活動、自主防災訓練などがあり、その分野は多岐にわたります。自治会員が、これらの活動に参加し、活動を通じて住民同士の交流やつながりをもつことにより、住んでいる地域が住み良いものになっていくと考えています。

どのような組織でも、運営していくためには、リーダーやリーダーを支えるメンバーが必要となり、自治会では、会長や副会長、会計、班長などの役員がいますが、それぞれ役割を分担しながら、「自分たちの地域は自分たちで」という思いで、「出来ることをできる範囲で」「お互い様」の気持ちを大切にしていくことが大切です。

昨年度の自治会長アンケート結果では、自治会長の年代は60～70歳代が全体の約73%と最も多く、40歳代や50歳代が全体の24%などとなっています。また、全体の約68%の自治会長が仕事をしています。

そのため、自治会長だけに負担がかからないよう、補佐役を配置し複数の担当者を設けることや、経験者を相談役に配置するなど、工夫しながら負担を分散する取組をされている事例もございます。

自分たちの地域を住み良い地域にしていくという自治会活動への参加は、会員同士お互い協力のもと成り立つものと考えます。

そういった点について、必要であれば一度自治会の中で話し合うことも検討されてはいかがでしょうか。

少し前置きが長くなりましたが、自治会長の皆様は、自治会長になられたことで、地区社協や青少年育成市民会議の役員など、自治会長以外の役職に就かれることが多くあり、この点についても負担となっているものと認識しています。

現在、市から自治会長の皆様をお願いしている依頼事項や、委員の推薦を依頼している事項などについて全て洗い出し、自治会長への依頼を廃止または見直しできないかといった調整を行っています。

引き続き、庁内横断的に自治会長の皆様の負担軽減に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

そのほか、自治会長の皆様の負担軽減策としまして、来年度より、市から自治会長の皆様にご案内させていただいている各種補助金や補償制度の案内、自治会加入促進チラシ、行事の案内などについて、わかりやすく説明させていただく研修会を4月中旬に各地域で開催する予定です。新たに自治会長になられた方が、不安に思われることがないように、丁寧かつ柔軟に対応してまいりますので、よろしく願いいたします。

また、地域と市との連絡調整や、地域課題の把握・解決に向けたご相談等に対応するため、市内4地区にエリア担当職員を配置しておりますので、お困りごと等ございましたらお気軽にお問合せいただければと思います。

少子高齢化、人口減少社会を迎え、社会全体の仕組みの変化が求められる中、自治会長の負担軽減の取組は、喫緊の課題であり、引き続き、全庁あげて取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

続いて、「市への書類提出の効率化について」ですが、今年度より、自治会運営の負担軽減や、自治会内の情報共有の効率化・迅速化、地域防災力の強化を推進するため、電子回覧板など自治会活動に特化した機能を有し、災害時には安否確認に使用できるアプリを全自治会長と希望される10程度の自治会を対象に15か月間試験導入し、効果検証を行う予定としています。

この事業では、今まで紙媒体でお送りしていた会議の案内や出欠確認、補助金申請や、アンケートの実施、広報紙や回覧などにつきまして、全てアプリ上で行うことができるほか、自治会長の手引きや防災ハンドブックなどの資料についても掲載するなど、自治会活動に関するあらゆる事項をアプリ内に集約することができます。

なお、このアプリの導入につきましては、自治会長の負担軽減や自治会活動の活性化の一助となるほか、最初に回答いたしました広報紙の配付についての課題解決にもつながるものと考えており、その点につきましても効果検証を進めてまいります。

詳細につきましては、9月末頃に自治会長の皆様へご案内させていただく予定です。

#### <陵南連合自治会長> (朝日自治会連合会長)

自分は働いていないので広報紙配付等についてもすぐに動くことが出来ます。ただ自治会長の60%強は働いており、メールを5時前に送っても返事が来るのは夜12時頃になるような方も見えます。仕事を終えて家に帰ってからとなると、そんな時間になるのでしょうか。そういった方は広報紙等の配布も日曜日になり、家庭での行事を削りながら配って見えることとなります。自治会長の選出についても立候補される方もあれば、輪番制や、抽選で当たってしまったなどやむなくやって見える方もある。こういった働きながらなんとかやって見える方々の事を考慮していただき、出来るだけ負担のかからないようにお願いします。

#### <朝日2丁目北自治会長>

紹介のあった、デジタル化に関するアプリの進捗状況は？

#### <まちづくり推進課長>

アプリについては、明日、事業者を決定する予定です。

#### 【シンポジウム案内】

「地域コミュニティ活性化シンポジウム」を、令和6年10月5日 13:30~15:45 産業文化センターあすかホールにて開催いたします。

近年、ライフスタイルの多様化や地域に対する考え方の違いなどにより、相互の連帯感や結びつきが希薄化する傾向にあります。

本シンポジウムでは、長期的観点から地域課題解決に取り組む組織、子どもたちによる地域ボランティア活動の発展に取り組む団体、他市で自治会活動のデジタル化に携わる方など様々な立場から地域に係る方に活動をご紹介します。

その中で、実際に自治会活動でアプリを活用されている愛知県豊川市 南山町内会の方にも事例発表をしていただきます。

是非、地域コミュニティ活性化シンポジウムにお越しください。

#### <朝日2丁目北自治会長>

アプリに関しては導入前のところ、今後導入についてどうするか評価していくところですね。画面に出ている項目を見ると、電子回覧、一斉の連絡、安否確認などもありますから自治会長の業務を行っていく中ではとても魅力的なアプリと思いますので、いい評価を期待しています。

#### 市政の説明

「ひとの活躍・まちの活気 しあわせ実感かかみがはら」

市政の概要、令和6年度新規事業について市長が説明。